

# EGMONT Beethoven

自由か？君は。

ゲーテとベートーヴェンが描いた演劇と音楽の融合、  
貴重な上演がついに実現。

特別演奏会

## ベートーヴェン：音楽劇《エグモント》 ～ゲーテによる悲劇～

2021年8月29日(日) 15時開演 (14:15開場)

東京藝術大学奏楽堂 (大学構内)

主催：東京藝術大学演奏芸術センター、東京藝術大学音楽学部 後援：日本ベートーヴェンクライス

◆藝大フレンズ賛助金助成事業

不寛容と失望に満ちたコロナ禍の今こそ問いたい「自由とは何か？勝利とは何か？」  
話題のオリジナル楽器オーケストラ「オルケストル・アヴァン=ギャルド」、  
気鋭のソリストと文学座の精鋭たち、そして藝大チームが、  
ゲーテとベートーヴェンの“劇的な”上演に挑む！

## エグモントの上演によせて

ちょうど一年前、この公演は新型コロナウイルスの影響でやむなく延期という決断をしました。  
ワクチン接種が始まったとはいえ、いまだ世界中でこのウイルスは猛威をふるっています。果たして公演を執行して良いのか？それは10年前、東日本大震災に見舞われた時以来の逡巡でした。  
音楽する、聴く、共有するという当たり前のことが当たり前に出来なくなった時に、我々はどこに向かって何をすべきか。音楽、芸術、文化に携わる者の宿命として皆が苦悩してきました。  
それでも私たちは新しい日常を求めて第一歩を踏み出します。ベートーヴェン、ゲーテ、エグモントと共に。皆さんと共有することで見えてくる新しい世界に希望を求めて。

八反田弘(東京藝術大学 副学長/演奏芸術センター 教授)

## ゲーテの葛藤は、ポストコロナ時代を切り開くヒントになるか？

フランス革命に向かう時代を生きた、若きゲーテ。彼は、それより200年以上前のネーデルラントで同じく歴史的転換期を生きた人物を題材に、戯曲『エグモント』を構想しました。フランス革命が掲げた「自由」という理想。それには程遠い現実。官僚でもあったゲーテは、その間で迷い、悩み、幾度も推諉の年月を重ねて、ようやくこの戯曲を完成させました。そこにあらわれた葛藤の足跡は、いま再び歴史の分岐点に立つ私たちにとっても、次の時代を切り開く手がかりとなることでしょう。

針貝真理子(ドラマツルク/東京藝術大学音楽学部准教授)

## 守るべきは自由か？規律か？

植村真(演出・上演台本)

“自由を守らねばならない”という思いと、“規則を守るべき”という考えはいずれの時代にも常に悩まされる問題です。『エグモント』では宗教や正義、自由などを巡る様々な思想の対立が描かれ、〈勝利の交響曲〉で幕を閉じます。奏楽堂に響く〈勝利の交響曲〉は、いったい誰のために向けられるものなのでしょうか？正義とは誰のための正義なのでしょうか？自由とは…？コロナ禍の現在、演劇として上演することによって、それらの問題はより現実味を持って私たちに迫ってくることでしょう。



うえむら・まこと 名古屋造形大学卒業、東京藝術大学大学院美術研究科先端芸術表現専攻修了。不在の演劇や観客の能動性について研究、創作を行い、美術や照明、映像を多数手掛け高い評価を受ける。近年の主な演出作品に『LIVE HAMLET』(上野恩賜公園水上音楽堂/2017)、『歓喜の杜』演出・美術(東京藝大附属図書館リニューアルオープン/2018)など。

## “今ここで生まれる最新の音楽”として問う

渡辺祐介(指揮)

今日「古楽器」とか「オリジナル楽器」と便宜的に呼ばれるものは、バッハにせよベートーヴェンにせよ、当時の作曲家たちにとっては厳然たる「モダン楽器」に他ならなかった。当時の最先端の技術で作られた、最も新しい響きを奏でる楽器だったのである。そのような楽器を過激に且つ効果的に用いたからこそ、ベートーヴェンは時代の寵児たり得た。オリジナル楽器でベートーヴェンを演奏するのは、決して古き佳き時代とやらへのノスタルジーゆえではない。ベートーヴェンの作品を“今ここで生まれる最新の音楽”として具現化するためなのだ。



わたなべ・ゆうすけ 東京藝術大学音楽学部卒業、同大学院修了。多田羅迪夫氏に師事。オランダのデン・ハーグ王立音楽院にて、ペーター・コーイ、マイケル・チャンス、ジル・フェルドマン、リタ・ダムスの諸氏のもと研鑽を積む。2002年4月より、鈴木雅明氏主宰のバッハ・コレギウム・ジャパンのメンバー。現在オルケストル・アヴァン=ギャルド音楽監督、マヨラ・カナームス東京音楽監督を務める。



細貝光司(文学座)  
ハインリヒ・エグモント伯爵  
2003年に『鹿鳴館』初舞台後、映画『兄消える』、CM・WEB『少しずつ、もっと、家族になる。』、アテレコ『ゲド戦記』等ジャンルを問わず幅広く活躍中。2021年では3月に舞台『昭和虞美人草』、アテレコではデイズニープラスにて『あの夏のルカ』独占配信中。



中江早希(ソプラノ)  
クレールヒェン  
北海道出身。北海道教育大学岩見沢校芸術課程音楽コース声楽専攻卒業。東京藝術大学修士課程音楽研究科声楽専攻独唱科、同大学院博士後期課程を修了。大学院アカンサス賞、三菱地所賞受賞。第27回道銀芸術文化奨励賞受賞。現在、北海道上川郡鷹栖町ふるさと応援大使としても活動をしている。



神野崇  
(文学座)  
ウィレム・オラニエ伯爵



若松泰弘  
(文学座)  
アルバレス公爵



小谷俊輔  
(文学座)  
フェルディナンド



金沢映実  
(文学座)  
クレールヒェンの母

藤村昇太郎 ブラッケンブルク 田上碧 スースト 矢野昌幸 ジェッテル 中村猿人 ファンセン 田中孝史 ツインマーマン  
山本大介 ザイフェンジーダー 荻野祐輔 ボイク/シルバ 神田初音ファレル ロイシュム/ゴメス 柴田知明 鼓笛隊

## オルケストル・アヴァン=ギャルド(管弦楽)

オルケストル・アヴァン=ギャルドは若い世代によるプロフェッショナルのオリジナル楽器オーケストラ。音楽監督・指揮の渡辺祐介、コンサート・ミストレスの荒木優子、首席オーボエ奏者 三宮正満、首席チェロ奏者 山本徹ら日本の古楽界の第一線で活躍する若手実力派を擁し、得意とする宗教合唱曲に加え、日本ではまだまだオリジナル楽器で演奏される機会の少ないベートーヴェンの交響曲・協奏曲の全曲演奏を当面の目標に掲げている。

コンサート・ミストレス：荒木優子

第1ヴァイオリン：池田梨枝子/廣海史帆/堀内麻貴/本郷幸子/山内彩香

第2ヴァイオリン：高橋奈緒/天野寿彦/高岸卓人/高田あずみ/堀内由紀

ヴィオラ：深沢美奈/秋葉美佳/本田梨紗/山口真 チェロ：山本徹/上村文乃/野津真亮

コントラバス：布施砂丘彦/永田由貴 フルート：柴田俊幸/野崎真弥

オーボエ：三宮正満/荒井豪 クラリネット：満江菜穂子/戸田竜太郎

ファゴット：鈴木禎/長谷川太郎 ホルン：大森啓史/大野雄太/伴野涼介/能瀬愛加

トランペット：斎藤秀範/大西敏幸 ティンパニ：井手上達

## 『エグモント』あらすじ

16世紀後半、舞台はスペイン統治下のネーデルラント。スペイン王フェリペ2世の命を受け、抑圧的なネーデルラント支配を進めるアルバレス公爵に対し、フランドルの領主エグモント伯爵は自由を求めて敢然と立ち向かう。スペイン圧政からの解放をめぐるオランダ独立戦争初期の史実を背景に、エグモント伯爵と市井の娘クレールヒェンの悲劇的な恋愛が織りなす壮大な物語。

特別演奏会

## ベートーヴェン：音楽劇《エグモント》～ゲーテによる悲劇～

第1部 鼎談(渡辺祐介／沼口隆／針貝真理子)(約30分)

第2部 L.v.ベートーヴェン作曲《エグモント》全曲(演劇を伴う上演形式)(約90分)

J.W.v.ゲーテ原作 ※参考資料:2003年潮出版社刊『ゲーテ全集第4巻』所収《エグモント》(内垣啓一訳)

指揮:渡辺祐介 管弦楽:オルケストル・アヴァン＝ギャルド

演出・上演台本:植村真 ドラマトゥルク:針貝真理子 美術:室井悠輔 衣装:田村五月桃

舞台監督:浜田和孝 大道具:株式会社パシフィックアートセンター 小道具:水本紗恵子

照明:藤原泰弘(シグマコミュニケーションズ) 音響:亀川徹／岩崎真 キャスティング協力:瀬戸口郁(文学座)

主催:東京藝術大学演奏芸術センター／東京藝術大学音楽学部 企画制作:東京藝術大学演奏芸術センター

後援:日本ベートーヴェンクライス ◆藝大フレンズ賛助金助成事業

# 2021年8月29日(日) 15時開演(14:15開場)

## 東京藝術大学奏楽堂(大学構内)

全席指定:5,000円【第1次発売6/30(水)】 ■第2次発売は7/下旬～8/月上旬を予定(大学HPで発表いたします) ■当日券の販売はございません

【チケット取り扱い】 ●ヴォートル・チケットセンター TEL.03-5355-1280 <http://ticket.votre.co.jp>

●チケットぴあ TEL.0570-02-9999 <https://t.pia.jp> (Pコード 199-125)

●藝大アートプラザ(店頭販売のみ) TEL.050-5525-2102

●東京文化会館チケットサービス TEL.03-5685-0650 <https://www.t-bunka.jp/tickets>

●イープラス(e+) <https://eplus.jp>

お問い合わせ

●東京藝術大学演奏芸術センター TEL.050-5525-2300

●東京藝術大学ホームページ <https://www.geidai.ac.jp>

※スケジュール・曲目・出演者等は都合により変更となる場合がありますので、最新情報は東京藝術大学ホームページをご覧ください。※就学前のお子様の同伴・入場はできません。

※車椅子をご利用のお客は、ヴォートル・チケットセンター TEL:03-5355-1280(平日10時～18時)までお問い合わせください。

### 東京藝術大学奏楽堂 [大学構内]

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

交通のご案内

■JR上野駅(公園口)・鶯谷駅(南口)、東京メトロ千代田線根津駅より 徒歩10分

■京成線京成上野駅、東京メトロ日比谷線・銀座線上野駅より 徒歩15分

※駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。



※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、出演者・スタッフの体調管理、入場者の制限、換気強化等の対策に取り組んでおります。ご来場のお客にも体調管理、手指消毒、マスク着用等にご協力をお願いいたします。なお、「37.5℃以上の発熱、咳・呼吸困難、体調に不安のある方」、「マスクを着用されない方」、その他対策にご協力いただけない場合は、主催者の判断により入場をお断りいたします。最新情報は藝大ホームページでご確認ください。